







お花の栽培シリーズ「スイセン」		
2012年1月	睦月(むつき)・正月(しょうがつ)・初陽(しよよう)・年初月(ねんしよげつ)・太郎月(たろうづき)・祝月(いわいづき)	●花作りの今年1年間の計画をたてましょう
●今年はずひ育ててみたい新しい植物はありませんか?参考書やカタログなどで知識や情報を仕込み、あれこれ考えをめぐらすのは楽しいものです。暖かくなると忙しくなるので、寒いうちに理想の庭に仕上げるために、じっくりと考えたいものです。		
庭木の作業	・休眠の時期なので植え替えは不適當。枯れ枝や病気の枝を切り、害虫の卵やサナギなどを見つけたりとります。	
草花の作業	・根が十分に張っていない苗などは、霜によって持ち上げられ、乾燥して枯れる心配があるので、株の周りを踏みつけ、必要ならば霜よけや防寒を十分にします。	

今月の誕生花	スイセン	
今月の花	花言葉/愛にこたえて・私は美しい・うめぼれ・自己愛・自尊心・気高さ・神秘	
	<p>スイセンはヒガンバナ科の多年性球根植物。原産地は地中海沿岸。季節は3～4月。花の色は、赤・ピンク、黄・オレンジ、白、緑、複色、覆輪・底白。</p> <p>属名の「Narcissus(ナルシサス)」は、「ギリシア神話の美少年「Narkissos(ナルキソス)」に由来し、この花の美しさによるとされます。またスイセンが全草に毒をもつため、「麻痺」や「死」や「昏睡」などを意味するギリシャ語の「ナルケー」が語源であるという2説があります。スイセンの名の由来は「水仙」の中国名をそのまま用い、すがすがしい花姿と香りから仙人の様子を例えたとされます。</p>	

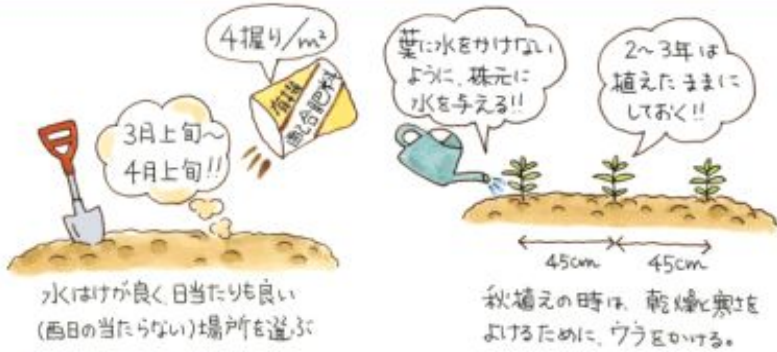
お花の栽培シリーズ
今月の花 ユウゼンギク

<p>日当たり</p>  <p>日なた</p>	<p>水やり</p>  <p>夕湿も嫌う</p>	<p>草丈</p>  <p>50~120cm</p>	<p>気温</p>  <p>12~22℃</p>	<p>花色</p> 
--	---	---	---	--

ユウゼンギクはシオンなどの仲間で、宿根アスターと呼ばれる品種です。日本的な名前ですが、北アメリカ原産です。晩夏から秋にかけて多彩な花を咲かせます。花色の豊富さと性質が強健であることから、花壇や鉢植えや切り花、花束など、多岐にわたって利用されています。栽培のポイントは、乾燥させないことです。特に生育期に当たる春から夏には、絶対に乾燥させないよう注意しましょう。しかし、多湿な環境も苦手。植えつけは水はけのよい用土にして、こまめに水をやるようにしましょう。水やりは、葉に水をかけないように株元から静かに与えます。風通しにも注意をします。一度植えつけたら、翌年はそのままして株を育て、株分けは2~3年に一度おこないます。鉢植えの場合は、毎年株分けして植え替えた方がよいでしょう。耐寒性があるので、冬も特に保護する必要はありませんが、その年の秋に植えつけた苗は、ワラをかぶせて乾燥と寒さを防ぎます。



● 植えつけのやり方



● 株分けのやり方



● 年間スケジュール

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
養生 深育									花期				
場所 植え き場	屋外の日当たりがよい場所 ※夏期に西日の当たらない場所												
水 や	表土が乾いたら与える 2~3日1回		表土がかわいたら与える (1日1回)			※乾燥させないようにするが、多湿も嫌なので注意する ※夏期は2~3日おきに夕方にも水やりをする			表土が乾いたら与える 2~3日1回				
肥料	元肥◎		***** ◎化成肥料2握り(植えつけ2年目)										生育状況を見て、薄い液肥などを与える
害虫 病気	うどんこ病にかかりやすいので注意する												
	植えつけ 株分け (露地植え) 2~3年に1回								挿し木				植え替え/株分け (鉢植え) 1年に1回
									※花が終わった株は元から切り取る				